

令和5年度 美術館研修－鑑賞ワークショップ－ 実施要項

- 1 目的 美術館における鑑賞学習を体験し、美術館と連携した鑑賞学習の充実の回り方を学ぶ。
- 2 対象 小・中学校（義務教育学校を含む）、高等学校、支援学校の図工、美術、工芸担当教員
募集人数 28名

3 日時等

回	日時	主題等	講師等
1	7月25日(火) 11:45~17:00	美術館と連携した鑑賞学習の充実 －美術館での鑑賞学習体験－ －学習指導要領の理解－ －鑑賞学習を深めるための美術館との連携について－ －鑑賞学習プランの考察－ 〔講義・演習〕	国立国際美術館 学芸課 主任研究員 藤吉 祐子 大阪府教育センター 指導主事等

※太字の時間帯は、通常時間帯と異なるので注意してください。

- 4 会場 国立国際美術館（大阪市北区中之島4丁目2番55号）

京阪電車中之島線「渡辺橋」駅下車、南西へ約400m
地下鉄四ツ橋線「肥後橋」駅下車、西へ約600m

- 5 その他
- (1) 受付は30分前から。
 - (2) 来所時には、所属名・名前が入った名札を着用すること。
 - (3) 自家用自動車・バイク等で来館しないこと。
 - (4) 上記の研修時間は、昼食の時間を含んでいます。
※個人での鑑賞学習体験後、各自で昼食をとっていただきます。
 - (5) 問い合わせ等は、大阪府教育センター高等学校教育推進室（06-6692-1882）まで行うこと。
- 6 担当室 高等学校教育推進室

令和5年度 美術館研修—鑑賞ワークショップ— シラバス

1 目的

美術館における鑑賞学習を体験し、美術館と連携した鑑賞学習の充実の図り方を学ぶ。

2 大阪府教員等育成指標の対象項目

OSAKA 教職 スタンダード	共通の指標														
	I			II			III			IV			V		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
第4期															
第3期															
第2期										○	○	○			
第1期										○	○	○			
第0期															

3 研修の主題とねらい等

回	主題	ねらい	内容	準備物・事前課題
1	美術館と連携した鑑賞学習の充実 —美術館での鑑賞学習体験—	美術館で実際に鑑賞体験をし、鑑賞学習プラン考案のためのイメージをつかむ。	美術館における鑑賞学習を通して、主体的に作品を味わう。	
	—学習指導要領の理解—	学習指導要領「B鑑賞」の目標及び内容を理解し、生徒の資質・能力を育成するための鑑賞学習プランの在り方を理解する。	図工・美術、工芸科の学習指導要領の趣旨を理解するとともに、「B鑑賞」の目標及び内容に基づいた鑑賞の学習プランを検討する。	
	—鑑賞学習を深めるための美術館との連携について—	美術館の活用と連携についての理解を深め、子どもの資質・能力を育成する鑑賞学習について考察する。	美術館と連携した鑑賞学習について、効果的に進めるための連携の方法と配慮すべき事項を理解し、育成すべき子どもの資質・能力について考察する。	
	—鑑賞学習プランの考察—	子どもの資質・能力を育成するための鑑賞学習プランについて考察する。	美術館と連携した鑑賞の学習プランについて小グループで検討し、その内容を共有する。	